

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	やまと興業(株) 第三都田地区工場	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市北区都田町(仮換地)	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年11月8日
敷地面積	9,903 m ²	作成者	池田祐史
建築面積	2,349 m ²	確認日	
延床面積	2,488 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です	
その他	特に無し	
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能 外装材 内装材 設備配管類に耐用年数の長い材料を使用します
Q3 室外環境(敷地内)	浜松市景観条例及び工場立地法に基づき景観及び緑化基準を満たしています	
LR1 エネルギー	特に無し	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材の分別を容易としリサイクルし易くしました。発泡剤を使用した断熱材は使用しません	
LR3 敷地外環境	騒音振動規制法の基準値以下になるよう配慮しています	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	やまと興業 第三都田地区工場	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	1.8	/5				がんばろう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.3	/5				がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.2	/5				がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.5	/5				がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上	

3. 重点項目についての環境配慮概要			内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)			得点		1.8	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④ALC100mm外壁材に高耐久性フッ素樹脂塗装の採用 ④ビニル床シート 石膏ボードクロス張り 化粧石膏ボード内装仕上げの採用 ④配管類を期待耐用年数0以上採用	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内緑化率を33%とした	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特に無し	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制			
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫躯体と仕上げ材が容易に分離可 ⑬発泡剤断熱材を使用しない	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒			
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭大気汚染物質を一切発生しない	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)			得点		2.3	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特に無し	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)			得点		2.2	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳作業室高さを6.7m以上とした	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ			
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 工場立地法に基づく緑化基準を遵守	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上			
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)			得点		1.5	
	■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ②浜松市景観条例基準を遵守	Q-3 1 2 3 3.2	② 生物環境の保全と創出 ② まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) 特に無し	LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善			